



発行
秦野市
農業協同組合
(神奈川県)
〒257-0015
秦野市平沢477
電話 0463(81)7711(代)
発行責任者 小島 敏雄
印刷所 (株)JA情報サービス



国際協同組合年

今月の特集 4～5面

地域農業を盛り上げる若手農家
市内の若手農家で構成する、青年部と
秦野市農業後継者クラブ「秦友会」が、
新しいリーダーを中心に今年度の活動を
スタートさせる。

J Aはだのは5月1日(木)か
ら6月30日(月)まで、春期農作
業安全確認運動を実施します。
市内では、農業従事者の高齢
化などにより、農作業中の傷害
事故が毎年起きています。昨年

農作業事故 ゼロへ運動

度は市内で、14件の労災申請事
故が発生しました。農業機械を
使用する前には、必ず整備や仕
業点検を実施し、小まめに休息
を取るなど、事故防止に努めま
しょう。



農家が持ち込んだ八重桜を選別する加藤代表㊤

加工所に八重桜ふわり舞う

「丹沢のさくら漬」を加工するも人気。3月に桜土手古墳公園で開かれた「丹沢のさくら漬マ」の加工に助けた。地元農家ら7軒が加工所に次々と持ち込み、会員が作業した。
じはさんずでは、さくら漬はもちろん「八重桜ソーセイジ」



西給油所6月9日から休業

西給油所は、セルフ式給油所への改装工事を実施するため、6月9日(月)から8月31日(日)まで休業します。休業期間中は、東給油所や各支所給油所をご利用ください。
9月1日(月)に新装オープンする予定です。セルフ化後は、

セルフ化に向けて改装



営業時間が午前7時30分～午後8時30分に拡大します。
詳しい内容は、ホームページのお知らせ欄をご覧ください。
QRコードからもアクセスできます。

鶴巻ふれあいマルシェ



多くの人でにぎわうマルシェ

生産者と消費者つなぎ10周年

鶴巻支店の敷地内で開く農産物直売市「鶴巻ふれあいマルシェ」が、10周年を迎えた。鶴巻地区の生産者が、毎週水曜日に新鮮な農産物を直接販売。多くの来店者から人気を集め、地域に親しまれている。

マルシェを始めたきっかけは、2014年9月に同支店の新装オープン記念イベントとして直売市を実施したこと。生産者と消費者の双方から継続的な開催を望む声が多くなり、15年4月から週1回の開催がスタート。以来、地域に定着している。

現在の出荷者は26人で、常時20～30品目の農産物を取りそろえる。季節ごとに旬の新鮮な農産物を並べることで来店者を呼び込み、平均して1日50人程度が訪れる。4月から11月までのマルシェの開店時間は午前8時で、売り切れ次第終了。年4回「新米すくい取り」や「ジャガイモ詰め放題」などのイベントを開催し、ファンの拡大を図る。9日の開店時には30人以上が集まり、にぎわいを見た。店頭にはキャベツやトマト、甘夏、クリスマスローズなど20品目以上が並び、新鮮な農産物を求める来店者から好評を博した。

春まつりは花盛り 園芸協会が農産物をPR



カーネーションを手渡す部員㊤

秦野市園芸協会は19、20の両日、本所敷地内で開いた。「園芸協会春まつり」を

た多くの来場者で、会場は連日にぎわった。協会は構成するJAはだの業種別部会の部会員らが、野菜苗や花苗、新鮮な農産物を出荷した。やさしい部会いちご部が協力しイチゴを販売した。他、足柄茶のティーバッグを対面販売した。花き部会カーネーション部とバラ部の部員は、来場者に花をプレゼント。「母の日・父の日」には秦野の花を贈ってPRした。

文中の表彰などの人名紹介の際の敬称は省略させていただきます。

キウイ花粉発芽率を調査

作業効率化し安定生産へ

授粉に向けアドバイスも

J Aはだのは、キウイフルーツの花粉発芽率を独自に調べ、果樹部会キウイフルーツ部員の安定生産を後押ししている。部員が採取・保管していた花粉を持ち寄り、園芸技術顧問らが花粉管の伸長を確認する。収量の確保や良質な果実の生産のために、重要なプロセスの一つに位置付ける。

部員は、主力品種「ヘイワード」の安定生産を目的とした人工授粉と、早生種「丹沢レッド」の開花期が異なる品種もある。授粉に当たって、栽培する受粉樹から花粉を採取。授粉樹は、結実樹となる。そのため採取した花粉は、翌年まで冷凍保管



寒天培地に調査用の花粉を入れる職員ら

する必要があるが、湿度などの管理状態によって花粉の発芽率が低下する場合がある。J Aは、効率的な作業を進めてもらおうと、授粉シーズンの前に花粉の発芽率を調査。結果を基に、授粉に適した希釈倍率なども部員に伝えている。

3、8の両日には、本所で発芽率を調査した。部員8人が受粉樹ごとの花粉サンプル47個を持ち

梨の摘蕾ポイント学ぶ

果樹部会どう・梨部は3月27日、鶴巻の園で梨の摘蕾(てきらい)講習会を開いた。部員5人が、摘蕾のポイントの他、授粉時の花粉の取り扱い方法などを確認した。



摘蕾箇所を確認する部員ら

講師を務めた県農業技術センター職員が、摘果の省力化と高品質な果実生産に向けた摘蕾方法を

受賞おめでとう 日頃の成果を発揮

J A全農かながわが、2024年10月23日に開いた神奈川県キウイフルーツ園芸技術大会の表彰

を行った。内容は次の通り。▽特選・神奈川県知事賞 尾澤健一(南矢名)

やさい部会施設部は3月28日、市内圃場(ほじ

寄、職員と園芸技術顧問が寒天培地で培養。顕微鏡で花粉管の伸長を調べた。

よう)を巡回して立毛共進会を開いた。審査の結果は次の通り。◎トマトの部 優秀賞 今井忠春(南矢名)▽優良賞 村上茂堀山下(堀山下)澤村一雄(鶴巻)◎キウイの部 優秀賞 高橋庸郎(尾尻)▽尾尻

佳良賞 杉崎誠(菩提)小島晴夫(上大槻)第54回神奈川県施設野菜共進会(野菜の部)が11日、県農業技術センターで開かれた。審査の結果は次の通り。▽特別賞・神奈川県種苗協同組合理事長賞 田中和幸(トマト・上大槻)▽入選 村上茂(トマト・堀山下)高橋庸郎(キウイ・尾尻)

で、心配する必要はありません。育苗後半(おおむね10日間)の温度は昼間で20度前後、夜間で15度前後を目標に管理します。低温になるときは被覆資材で保温します。30度以上の高温は、苗が焼ける状態になる他、苗立枯病を助長するので、換気などを行い、高温にならないようにします。田植え1週間前ごろから被覆資材を外し、徐々に外気温に慣らします。蒔き蒔きウイルスを媒介するヒメトビウンカや、倒伏の原因にもなる紋枯病の発生を予防するため、育苗箱施肥を行うことから田植えをします。

営農技術

ヒント・ポイント

かながわ鳥獣被害対策支援センター 0463-22-9521 (廣瀬)

農業技術センター 普及指導部 0463-58-0333

果樹花き課 果樹(大井・曾根田・清田) 花き(青木)

野菜課(杉山) 作物加工課(城戸) 加工(小川)

水稲

育苗について

▼種子および育苗土の準備 充実の良い種子を選別するために、塩水選を行います。種子伝染性病害やイネシガラセンチュウの予防のため、種子消毒は必ず行いましょう。

説明。主枝・亜主枝の先端50%ほどは全て摘蕾することなどを伝えた。黒星病の防除方法についても紹介した。

部員は、摘蕾に適したタイミングや、受粉を阻害しない病害虫防除の方法などについて質問。部員同士で互いに情報を交わした。

浸種期間中は、酸素補給のために1、2日おきに水を交換しましょう。時々、種もみをかき混ぜることで、水温や酸素吸収を均一化することができます。

育苗土は、苗立枯病を防ぐため、農薬による消毒を必ず行いましょう。市販の育苗培土を使用する場合でも、消毒は必要です。

育苗 1.5程度出芽したら直ちに育苗箱を上げ、昼間20〜25度、夜間15〜18度で管理します。初期に低温になると苗が伸びなくなるので、寒冷紗(しゃ)やビニールトンネルで保温しながら管理します。育苗前半(おおむね7日間)は、急激に温度を下させないよう午前中に灌水します。水をかけ過ぎると根の張りが悪くなるので、灌水は控えめにしましょう。

▼水田について 県内ではスクミリンゴガイ(ジャンボタニシ)やナガエツルノゲイトウなどの外来生物の発生が拡大しています。疑わしい場合は速やかにJ Aや農業技術センターにご相談ください。

▼播種(はしゅ) 10坪当たりの播種量は乾もみで3斗、育苗箱1箱当たりで、約1500g(催芽もみで約1000g)が目安です。厚まきすると苗が蒸れて、病気の発生を助長したり徒長したりするので注意しましょう。灌水(かんすい)は、播種前の床土に適切に行い、水分不足にならないようにします。

▼出芽 積み重ね方式の場合には、育苗箱6〜10枚程度とし、多く重ね過ぎないようにしましょう。育苗箱内の温度は30度以上にしないように、温度の

(城戸)

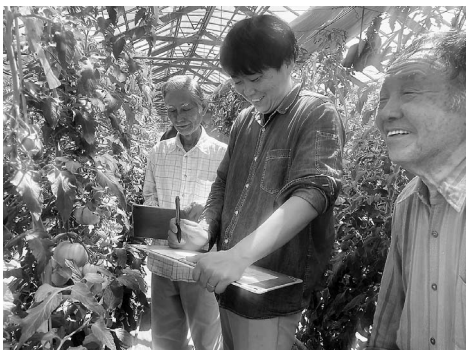
やさい部会施設部が巡回

栽培管理で意見交換

述。これからの時期は気温が上昇し、病害虫が発生しやすくなるため、早めに対策するよう呼びかけた。

村上耕一部長は「異常気象などで栽培管理が難しくなっている

ので、他の部員の温室を見学することで参考になる部分が多い。今後とも部員同士連携して、引き続き丁寧な栽培に心がけていきたい」と熱意を見せる。



部員の温室で生育状況を確認

部員をはじめ、県農業技術センターやJ Aの職員7人が、それぞれの温室で生育状況や肥培管理、収量、品質、病害虫の5項目をチェック。植

ボードン袋・テープ類を割引

5月10日〜18日

J Aグリーンはだのは5月10日(土)〜18日(日)、ボードン袋・テープ類の割引キャンペーンを実施します。期間中は特別価格で販売しますので、お得なこの機会にぜひご利用ください。



ボードン袋やテープ類

J Aグリーンは農家を応援します

お問い合わせはJ Aグリーンはだのまで。☎81-7719

集まったキャップをまとめる部員



部誌「ひろば」
第34号発行

活動する姿を写真で紹介

1988年創刊 生き生き楽しく37年



発行した「ひろば」を手にする部員

公民館に配り仲間づくり

女性部は3月28日、活動記録をまとめた部誌「ひろば」の第34号を発行した。仲間意識の向上を目的に1988年に創刊し、以来37年にわたって定期発行。部員が生き生きと活動する写真が満載の部誌は、公民館などにも配布し、新たな仲間を呼び込むきっかけとしても役立てる。

部員がコメント 雰囲気も伝える

「ひろば」は、創刊当時「誰でも気軽に触れ合いを持てる場にしたい」という願いを込めて誌名が付けられた。活動での体験談や、日常生活の中で気付いたことなど、部員の原稿を文庫形式で掲載。互いの考えを伝え合うことで、意見交換のきっかけにしようと発行が始まった。

2002年からは、部員の発案で内容をリニューアル。支部ごとの活動の写真を中心に、部員のコメントを掲載する形式

ままメートクラブで 楽しく交流しよう!

初めての方も歓迎



部員と一緒に新聞紙のかぶと作り

J Aはだのは、地域の子育て世帯を応援するため「ままメートクラブ」

に充実させようと、発行頻度を2年に1回に変更した。第34号は、A4版フルカラー全94ページ。全7支部に各10ページを割り当て、支部や趣味グループの活動を多数紹介する。「ここにこそ楽しく充実のひとときを過ごせました」など部員のコメントを写真と一緒に掲載し、活動の雰囲気を伝える部誌に仕上げた。300部を発行し、各支所・支店や、市内の公民館に配布。部をPRしている。



南支部
上今川町2班 班長
齋藤 輝子さん

いきいき女性部活動

私は入部して1年ですが、地域に他の部員がいなかったため、班長を担当しています。班長として支部会に出席することにより、女性部の情報や知識を得ることができ、勉強になります。皆さまと楽しく親睦を深められるように、今の目標はできる限り女性部行事に参加することです。

キャップ回収でSDGSに

ワクチン6740人に届ける

女性部は「エコキャップ回収運動」を継続し、持続可能な開発目標(SDGs)に向けた取り組みを進める。本所・全支所・支店とじばさんすにペットボトルキャップの回収ボックスを設置。これまでにキャップ約57

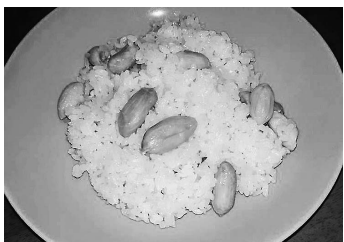
9万個を回収し、世界の子どもたち6740人にワクチンを届けてきた。同部は、プラスチックのリサイクルを推進して二酸化炭素の排出量を減らすと、2009年からペットボトルキャップの回収を始めた。誰にでもできる身近な運動として、部員が広く協力を呼びかけ、組合員や利用者らにも定着している。回収したキャップは、NPO法人に届け、選別した後にリサイクル業者に売却される。売却益で開発途上国の子どもたち

にポリオなどのワクチンを届けることができる仕組み。多くの面で、SDGsの目標達成に寄与する活動だ。

石井理代部長は「プラスチックごみの環境問題対策はもちろん、開発途上国の子どもたちの健康を願ってキャップの回収が続いている。部員の活動が少しでも役に立ちたい」と思いを語った。

落花生の炊きおこわ

大根支部 伊藤 久恵さん



■材料4人分■

もち米3合、ゆで落花生(冷凍でも可)100g、酒大さじ2、塩小さじ1

<作り方>

- ①ゆで落花生の実を取り出す。
- ②もち米をお湯でとぐ。
- ③炊飯器の釜にもち米と落花生、酒、塩を入れ、2.5合の目盛りまでお湯(60～65度)を入れる。
- ④炊飯器のスイッチを入れて炊く。
- ⑤炊き上がったらしゃもじで混ぜる。

<ひとことアドバイス>

もち米をお湯でとぐのがポイントです。炊き上がったらすぐに混ぜてください。

さまざまなレクリエーションがあります。手作りおもちゃも用意します。初めて参加する方や、パパの参加も大歓迎。みんな楽しく遊びましょう。

◎対象 生後6カ月～未就園児とその親
◎日程 ①5月30日(金)②6月18日(水)③7月17日(木)④9月18日(木)⑤10月23日(木)⑥12月18日(木)⑦2026年1月22日(木)⑧26年2月19日(木)
◎時間 午前10時～同
◎場所 本所3階虹の間
◎参加費 無料
◎定員 20組
◎申し込み、お問い合わせは生活福祉課まで。☎72-7661

5月の女性部行事予定表

8日(木)	13:30～本部役員会
15日(木)	9:30～支部会(東・西)
//	13:30～支部会(本町・南)
16日(金)	8:00～本町支部「支部旅行(群馬県)」
	9:00～上支部「グラウンドゴルフ大会」
//	9:00～支部会(大根)
//	11:00～大根支部「ゴキブリ団子作り」
//	13:30～支部会(北・上)
20日(火)	13:00～西支部「こうじ造り」(22日まで)
23日(金)	13:30～北支部「グラウンドゴルフ大会」
28日(水)	8:30～南支部「支部旅行(山梨県)」
30日(金)	9:30～北支部「ゴキブリ団子作り」
//	10:00～北支部「廃油せっけん作り」

八重桜の摘み取り急ピッチ



八重桜を摘み取る小野さん

以上のベテラン。本業はカーネーションを生産する花卉（かき）農家だが、八重桜の開花シーズンは樹上で持ち前の技術を光らせる。

大きい木で10以上にわたる八重桜の、一番効率的に花が摘める位置を見極め、はしごをかけて登る。「周囲にけういの範囲は枝を手繰り寄せられる。桜もきは時間との勝負なので、一度に2、3個の花房を持つてまててもぐ」と話す小野さんは、1日に30〜40の花を摘み取る。

八分咲きの適期逃すな

食用八重桜の摘み取りは、はしごに登って枝を逃すまいと、急ピッチで作業が4月中旬、最盛期、手繰り寄せ、花やつぼみ摘み取った。

千村の小野孝允さんは、木にかけた7〜8日ほどの開花シーズンは、摘み手を始めて50年

輪を広げる活動を

食料安保で特別決議も

新体制スタート

青年部と秦友会が総会



北村昌史会長が北村朋大前会長からバトンを受け継ぐ

秦野市農業後継者クラブ「秦友会」が総会を開き、役員改選を行った。新しいリーダーを中心に今年度の活動がスタートする。

秦野市農業後継者クラブ「秦友会」は8日、青年部は11日に、本所で通常総会を開いた。

秦友会は、委任状を含め会員12人が出席し、上程された4議案を審議。2024年度の活動報告や25年度の活動計画などを可決した。

青年部は、委任状を含め部員29人が出席し、24年度活動報告の他、25年度活動計画などを審議。第1号議案から第4号議案までを全会一致で可決した。特別決議として、食料安全保障の実現に向けた、これからの農政運動の展開についても審議。「地域」と農業「食」をつなぎ、輪を広げていく活動をしていくことを確認した。



ユースマルシェで部員が来店者と交流

市内の若手農家で構成する、青年部と秦野市農業後継者クラブ「秦友会」が総会を開き、役員改選を行った。新しいリーダーを中心に今年度の活動がスタートする。

若手農家

地域の農業を盛り上げよう

新しい取り組みも工夫

秦野市農業後継者クラブ「秦友会」の会長に就任した北村昌史さんは就農5年目で、堀山下でシクラメンなどを栽培する。幼い頃から父・北村博文さんの働き姿を見ていたこともあり、家業を継いだ。現在はシクラメンの他に、ペチュニアやニチンソウの花苗なども出荷する。博文さんから栽培技術や品目の選び方などを教わり「そばで教えてもらえるのは心強い」

会長として「秦野の農業をさらに盛り上げていくために、昨年の活動に加え、新しい取り組みを考えていきたい」と抱負を語った。

部員の経営改善に貢献

青年部委員長
高梨 晃さん(37)



「青年部に入ってから情報交換する仲間が多くなった。これから盟友から多くのことを学んで、生かしていければ」と話す。

委員長として「部員一人一人の農業経営の改善につながる活動をしていきたい。例年の活動に加え、適正価格の勉強会などを開催して経営の知識を深められたい」と意気込みを語った。

新リーダー活動強化へ決意

秦友会会長
北村 昌史さん(28)



「オモト栽培のきっかけは、12年前に養父からオモトの鉢を譲り受けたことがきっかけです。縁起の良い植物だと知り、学生時代から植物を育てるのが好きだったので、育てて次の方につないでいく」と思っていました。

「オモトの魅力は、できるだけ長生きし、孫たちの結婚式に出たいです。植物のお嫁手入れも必要ない、との関係性を大切にしていきたいです。」

今後の展望は？

「長寿」「永遠の繁栄」などの花言葉を持つ、譲った方にとても喜ばれます。丈夫であり、増やした株を多くの人に譲り、つながりを広げている。

「オモト栽培のきっかけは、12年前に養父からオモトの鉢を譲り受けたことがきっかけです。縁起の良い植物だと知り、学生時代から植物を育てるのが好きだったので、育てて次の方につないでいく」と思っていました。

生産組合で整備講習

農機持ち込みやすく好評



JAはだのは4日、西整備講習会を開催した。町生産組合を対象に農機組合員6人がトラクターや管理機など9台を小川誠一生産組合長宅に持ち寄った。農業機械セクターの職員が、オイル交換

食農教育に

役立てて

JAはだのは3月21日、秦野市役所教育庁舎で佐藤直樹教育長に、食



宮永組合長が佐藤教育長に教材を手渡した。

農教育教材「農業とわたしたちのくらし」を贈った。宮永均組合長が児童用と教師用の冊子を手渡し、有効活用を依頼した。

教材は、JAバンクが全国の小学5年生向けに毎年発行している。サイ



伊藤会長らの指導でカブを収穫する新採用職員。

2日には、宮永均組合長が元町の横溝英二さん(103)宅など9軒を訪問。横溝さん宅では秦野産のバラのアレンジメントとメッセージを添えた記念品を渡し「これからも元気に過ごしてください」と声をかけた。

新採用職員が農業実習で汗

JAはだのは、秦野市農業経営士会の協力で、新採用職員研修に農業実習を取り入れている。農業を体験し、経営士の農業に対する思いを直接知ってもらう場として、30年以上継続。農家の思いをくみ取り、寄り添って行動できる職員育成に役立っている。

実習にはこれまで、野菜や花卉（かき）などさまざまな業態の経営士が協力。経営士との会話から日頃の作業内容の他、農業のやりがいや苦労を聞くことで、農業者への理解を深める機会になっている。

3月27、28の両日には、経営士3人が新採用職員7人の実習を受け入れた。伊藤章会長の下には2人が訪れ、カブの収穫や出荷作業などに汗を流した。

- 100歳以上
- ▽大根地区Ⅱ今井玉乃(下大根) 内海清(北矢名)
 - ▽須藤麗子(南矢名)
 - ▽佐藤トヨ(鶴巻北 岩田俊一(鶴巻)
 - ▽本町地区Ⅱ横溝英二(元町)
 - ▽東地区Ⅱ古川サマ江(寺山)
 - ▽南地区Ⅱ加藤ヤエ子(鈴鹿町) 加藤ケン(平沢)
 - ▽北地区Ⅱ町田秀雄(羽根)
 - ▽西地区Ⅱ北村正代(堀山下) 関野コト(栃窪 横川喜久枝(曲松)
- 88歳(米寿)
- ▽大根地区Ⅱ松村やよい(下大根)
 - ▽本町地区Ⅱ三嶽信子(本町)
 - ▽東地区Ⅱ関野慶一(落合)
 - ▽西地区Ⅱ山口寛和(堀西)
- 77歳(喜寿)
- ▽大根地区Ⅱ村上政司(南矢名) 田中誠南矢名
 - ▽北地区Ⅱ毒島春枝(三屋)
 - ▽西地区Ⅱ小宮夏子(秋が丘)
- ※自己申告です。で、該当の方は申請書に記入・押印の上、誕生月の前月末までに各支所・支店に申請書の提出をお願いします。

農産物や加工品ずらり

青年部がユースマルシェ

魅力をじかに伝える

青年部は5日、じばさんた。ユースマルシェのリーズ店外の特設テントで対面。ターを務める山口哲治さん販売イベント「ユースマルシェ」は、秦野産小麦のバスタとシェを開いた。来店者と葉ニンニクで作ったペロ直接コミュニケーションをランチを試食として振る取ること

で、農業への理解促進や活動のPRにつなげる狙い。部員が自ら手がけた農産物や加工品のおいさを説明しながら、来店者に秦野の農業の魅力伝えた。

参加した部員3人は、ロメインレタスや小松菜の他、秦野産小麦で作ったソーめんやほうとうなどを見せる。乾燥麺を用意、お薦めの食シェを計画。次回は6月のべ方や栽培のこだわりを伝シェを計画。次回は6月のえながら、来店者と交流し予定だ。



100歳以上の組合員訪問

秦野の花手渡し

JAはだのは、組合員の健康を願い、長寿を祝って記念品を贈る「いきいきライフ支援事業」に取り組んでいる。長年にわたってJAや地域社会の発展に貢献してきた組合員の長寿を祝い、感謝

▽大根地区Ⅱ村上政司(南矢名) 田中誠南矢名

▽北地区Ⅱ毒島春枝(三屋)

▽西地区Ⅱ小宮夏子(秋が丘)

※自己申告です。で、該当の方は申請書に記入・押印の上、誕生月の前月末までに各支所・支店に申請書の提出をお願いします。

発見 三屋の長寿

No.501

三屋住の内藤嘉昭さんは、曲松で生まれ育った。高校で園芸科を専攻し、洋ランや盆栽を学んだ。高校卒業後は、父の勧めで日本国有鉄道(現JR東日本)に就職。駅務員な

オモトで幸せお裾分け



貸し付け、高架下の開発、保守管理に携わった。定年後は趣味で観葉植物「オモト」を育て、増やした株を多くの人に譲り、つながりを広げている。

「オモト栽培のきっかけは、12年前に養父からオモトの鉢を譲り受けたことがきっかけです。縁起の良い植物だと知り、学生時代から植物を育てるのが好きだったので、育てて次の方につないでいく」と思っていました。

「オモトの魅力は、できるだけ長生きし、孫たちの結婚式に出たいです。植物のお嫁手入れも必要ない、との関係性を大切にしていきたいです。」

今後の展望は？

「長寿」「永遠の繁栄」などの花言葉を持つ、譲った方にとても喜ばれます。丈夫であり、増やした株を多くの人に譲り、つながりを広げている。



利用者と作業する高橋委員長(右)

体験型農園の利用者を支援

所委 支営 南運

南支所運営委員会は12日、平沢の体験型農園「水湧く湧く農園」で、利用者の支柱立てや種まきをサポートした。市内唯一の体験型農園を支援し、地域の農業を盛り上げようと企画。委員らは、



タケノコを掘る親子

農家が手助けタケノコ掘り

農業満喫CLUB

はだの都市農業支援センターは12日、東田原の竹林でタケノコ収穫体験会を開いた。はだの農業

満喫CLUBのイベントの一環。参加者は、竹林を管理する大津俊彦さんから地元農家のサポートを受け、タケノコ掘りに挑戦した。

大津さんらは事前に竹林を整備し、タケノコが出ている場所に目印を立てるなど準備を進めてきた。今年は雨不足や低温の影響で、例年に比べ2週間程度生育が遅れていたため、開催を1週間延期した。

参加した21組59人は大津さんらに習いながら、スコップやくわを使ってタケノコの周囲の土を掘り、地下茎から切り離した。「大きいタケノコが取れた」「早く食べたい」と大声を上げ、収穫を満喫した。

告知板

農業者に 交付金支給

農業者の経営所得安定
対策の一環で、交付金を
支給します。

◎対象 ①水田で野菜
などを販売目的で生産し
ている農業者②小麦・大
豆・ソバを生産している
認定農業者

◎申し込み日時 5月
8日(木)、9日(金)

◎申し込み時間 午前9時～正
午、午後1時～同4時

◎場所 秦野市役所本
庁舎3階 講堂

◎お問い合わせは秦野市
農業振興課882-962
6まで。

制度についての詳細
は、関東農政局神奈川県
拠点8045-2111-
7176まで。

GW中のATM
稼働は通常通り

J AはだのATM
は、ゴールデンウィーク
中も通常通り稼働しま
す。※上支所を除く。

お問い合わせは各支所
・支店または信用課で
881-7716

上地区で農園 ハイキング

上地区で農園をハイキ
ングしながら、極早生桃
やニンニク、バラなど10
品目以上の農産物が収穫
できる農園ハイクを開催
します。自然の中で旬の
野菜を収穫してみませ
んか。

◎日時 6月7日(土)
午前9時～午後2時(最
終受付は正午) ※荒天
の場合は6月8日(日)

◎チケット代 1セッ
ト1000円(3枚つづ
り)

◎募集定員 130組
(申し込み先着順)

◎応募開始日 5月15
日(木)

◎集合場所 上支所

◎申し込み方法 電話
で名前と参加人数を伝え
てください。

お申し込み・お問い合
わせは、はだの都市農業
支援センターまで。881-
7800

期限切れ農薬・ 空き容器を回収

使用期限切れの農薬
や、使用済み農薬の空き
容器、土壌消毒剤の空き
缶などを回収します。希
望する方は、必ず事前に
お申し込みください。

◎日時 5月10日(土)
午前8時30分～同9
時30分

◎場所 本所選果場前
◎対象薬剤 乳剤・油
剤・水和剤・粉剤・水溶
剤

◎お問い合わせはJ Aグ
リーンはだのまで。881-
7719

組合員茶生葉
加工について

茶生葉の加工日は5月
10日(土)を予定してい
ます。天候によって、加
工日が変更になることも
予想されますので、搬入
日の前日に加工日を必ず
営農課に確認してくださ
い。

◎搬入場所・時間
▽大根・本町・東・南
地区 本所J Aグリーン
前・午後2時～同3時

▽北・西・上地区 上
荒茶工場・午後2時～同
3時

◎加工料 生葉1kg当
たり352円(税込み)

◎加工料の徴収 加工
作業終了後10日以内に精
算

当日摘採の生葉を搬入
してください。異物混入
や蒸れにご注意くださ
い。

いばさんず NEWS

【5月のイベント】

☆「こどもの日フェア」3日(土)
～5日(月)

かしわ餅など、こどもの日に
ちなんだ品物がたくさん並び
ます。

☆「旬の果物・野菜フェア」3
日(土)4日(日)6日(火)
17日(土)18日(日)24日(土)
31日(土)

旬の果物や野菜にスポットを
当て、店舗外の特設コーナ
ーで販売します。

☆「母の日フェア」10日(土)
11日(日)

花束やフラワーアレンジメン
トの売り場を拡張します。秦
野産のカーネーションでお母
さんに日頃の感謝の気持ちを
伝えましょう。

☆「豚肉加工商品の日」16日(金)
(株)フリーデンが国産豚を使用
したお得な商品販売しま
す。

☆「お茶フェア」24日(土)
市内で茶を生産する農家が新
茶を対面販売します。お茶に
関する質問もお気軽にどう
ぞ。

☆「こんにゃく試食販売」25日
(日)29日(木)
手作りこんにゃくの出荷者が
対面販売を行います。おいし
いこんにゃくを試食してみ
てください。

☆「たまごの日」毎週月、水、
金曜日

店頭価格から10%引き。一部
の生産者出荷品は除きます。

☆「肉の日」毎週木曜日と29日
(木)

店頭価格から5%引き。29日
は「ダブル肉の日」で8%引
き。

※毎週水曜日の「米の日」は、
米の安定的な入荷が見込める
まで休止しています。当面の
間、水曜日は「たまごの日」
とします。

【Sun's Gelatoのイベント】

☆「ポイント2倍デー」3日(土)
23日(金)
サン(3)ズジェラートの日
は、ジェラート1個ご購入で
スタンプカードに二つ押印し
ます。

☆「お得なパンセット」8日(木)
18日(日)28日(水)

8の付く日はパンセットの
日。クロワッサンなどのパン
商品を5個300円で販売しま
す。組み合わせはお好みで選
べます。

☆「ワンスプーンサービス」
雨の日は、ジェラート購入で
お好きな味をスプーン1杯分
お付けします。

◎5月13日(火)は定休日です。
※準備の都合上、イベントが変
更になることがありますの
で、ご了承ください。



5月11日(日)午前9時
放送のtvk「かながわ旬
菜ナビ」は「至福の一杯♡
秦野名水」と題して、J A
はだの管内からお届けしま
す。

かながわ旬菜ナビ 「至福の一杯♡秦野名水」 5月11日(日)午前9時から

で、ぜひご覧ください。再
放送は5月12日(月)午前
10時から。

①小養毛の松下設子さん
のワサビ田で葉ワサビの収
穫を体験②ワサビ田を管理
する尾尻の八木茂さんへの
インタビューと自家製わさ
び漬けなどの試食③堀山下
の太木勝次さんが営む太木
豆腐店で、豆腐作りの手伝
い④「弘法の清水」で秦野
名水の秘密を紹介(放送の
順序は未定)。

についても、融資課の担
当者がお伺いします。

各支所・支店でも、従
来通りご相談をお受けし
ます。

お問い合わせは融資課
まで。881-7713

カメムシ防除農薬
購入助成金を交付
カメムシによる農作物
や庭木への被害を軽減す
るため、農薬の購入費用
に対して助成金を交付し
ます。ぜひご利用くださ
い。

◎申請期間 5月1日
(木)～2026年1月
30日(金)

◎対象農薬 申請期間
内にJ Aはだので購入
し、使用する次の農薬①
スタークル顆粒水溶剤
(100g、500g)
②スタークル粒状(1kg、
3kg)③スタークル豆つ
ぶ(250g)

◎対象者 組合員およ
び地域住民

◎助成金額 購入費用
の半額(100円未満切
り捨て)※上限3万円

◎助成回数 1世帯1
回まで

◎申請受け付け J A
グリーンはだの、各支所
・支店

◎提出書類 申請書、
領収書など

助成金予算額を超えた
場合は、期限前でも受け
付けを終了します。

お問い合わせはJ Aグ
リーンはだのまで。881-
7719

年金無料相談会

これから年金を受け取る皆さまの複雑な受給手続きの
お手伝いをさせていただきます。
社会保険労務士がご相談にお応えします。

ご来場の方に
粗品を進呈

5月25日(日) 本所農業
団地センター

時間 午前9時～午後4時

できるだけ
事前予約を
願います

ご予約・お問い合わせは 信用課 TEL.81-7716

募集 JA正職員

◎応募資格 2026年3月に大学または短大を卒業予定の方、
卒業後3年以内の方

◎募集人員 若干名

◎職種 JA業務全般に携われる方(総合職)

◎応募受付期間 2025年5月30日(金)午後5時まで

◎応募方法 マイナビ2026のウェブサイトで「JAはだの」と検索し、
確認してください。右記QRコードからもアクセスできます。

◎お問い合わせ先 〒257-0015 秦野市平沢477番地
秦野市農業協同組合 総務課
TEL.0463-81-7711(平日午前8時30分～午後5時)

文芸の窓

〈俳句〉(酒井 敏光 選)

梨花の香りのなかに通学路

蒲公英や今日は野菜の販売日

野遊びや祖父母のまじてモノクロ写真

山わらふ北の国から来た便り

陽炎に視線のずれる故人の名

桜のシール顔に貼り卒業す

母一語吾も一語や飛花落花

野に遊ぶポセツト一つ膨らませ

遠さかる手中の玉や陽炎へる

裸婦像の銅の発熱かげろひぬ

〈短歌〉(久保寺 富男 選)

友の言う「跨いで行く大島に」

大室山頂海のパノラマ

評 海晴れて今日の大島くつきりと一跨ぎ

にて行けそうと友言う——。こうい

ことではないのか。会話を括弧(かっ

こ)して取り込む歌も最近多く見るが

安直感を否めない。

隣家の庭の傾りに咲き盛る

山吹の黄の春の喜び

うぐいすの初音聞きたりそを妻に

伝えむとして遺影に向かう

よかったら私と結婚せえへんか

言つてさささひとりで逝つた

漢字では人と信と読む

蟹行文字のトランプに言はむ

大木かすひろ(名古屋)

八木 実(鶴巻北)

安居院輝雄(上大槻)

志賀 明子(千村)

石原 松枝(渋沢)

吉田 清美(渋沢)

高島美和子(名古屋)

佐藤英美子(南矢名)

柳川みち子(栄町)

森高 由子(渋沢)

高橋 順子(大森町)

柳川みち子(栄町)

野遊びや祖父母のまじてモノクロ写真

山わらふ北の国から来た便り

陽炎に視線のずれる故人の名

桜のシール顔に貼り卒業す

今月の理事会

3月27日、4月25日に理事会を開催し、次のことを審議しました。

【3月27日理事会議案】

▽第62回通常総代会の開催について

▽第62回通常総代会表の改正について

▽内部者取引管理要領の改正について

▽余剰金運用規程の改正について

▽融資関連手数料の改正および新設について

【4月25日理事会議案】

▽2024年度決算書類ならびに部門別損益計算書、事業別の明細の承認について

▽株協同コンサルトはだの株主総会の招集および議案について

▽株協同コンサルトはだの決算および剰余金処分について

▽貸出条件変更の申し込みについて

▽株式会社金港ホールディングスへの株式譲渡について

▽2024年度貸借対照表、損益計算書、剰余金処分案、注記表および事業報告ならびにこれらの附属明細書の監事およびみのり監査法人への提出について

▽大規模災害緊急対策積立金の取り崩しについて

▽職制規程の改正について

▽2024年度決算にかかる償却・引当案について

▽2025年度指導

通常総代会は5月29日本所で

議案説明会に参加を

提出議案説明会日程表		
開催日	開会時間	地区
5月8日(木)	午後2時	大根・本町・上
5月9日(金)	午後2時	東・南
5月10日(土)	午後2時	北・西
	午後6時	全域

第62回通常総代会は、クアーズテック秦野カルチャーホールが改修工事のため、本所3階虹の間で開催します。収容人数に限りがあるため、通常総代会に先立ち、提出議案説明会を開催します。総代の皆さまの出席をお願いします。

◎開催日時 上表の通り。

◎開催日時 5月10日(土)の夜間の回にご参加ください。

◎場所 本所3階 虹の間

◎第62回通常総代会

◎開催日時 5月29日(木)午後1時30分から

◎場所 本所3階 虹の間

◎提出議案

▽第1号議案 2024年度事業報告および剰余金処分案の承認について

▽第2号議案 JAはだの「第七次中期経営計画(2025年度〜2027年度)」の設定について

▽第3号議案 2025年度事業計画の設定について

▽第4号議案 役員報酬に

度指導事業の費用に充てた

め経費(賦課金)について

▽第6号議案 定款の一部

で。81-17711

▽その他臨時案件

5月上旬に、正組合員に総代会資料を配布します。資料は、PDFデータをホームページのお知らせ欄に掲載しますので、どなたでもご覧になれます。

総代会資料冊子の受け取りを希望する准組合員には、直接お渡ししますので、5月7

日(水)以降に各支所・支店

または総務課にお越しくださ

い。

お問い合わせは総務課ま

で。81-17711

職員人事

かこ内は旧部署

◎4月1日付人事異動

◇管理課

総務課 村上智(企画課長)

企画課

課長 小島勝三(信用課

長兼資産相談センター長

桐山慎規(本町支所)

組織教育課

課長 内藤聖樹(営農販

売課長) 栗原雅史(葬祭課

生活福祉課

角田映里子(営農販売課

◇営農販売部

課長 北原慶徳(営農販売

課はだのじばさん支店)

稲毛宏樹(営農販売課)

営農課付はだの都市農業

支援センター

担当係長 高橋大樹(営

農販売課はだのじばさん

副店長)

◇経済部

課長 森繁和(生産資材

課長) 平之内昌彦(鶴巻支

店次長)

生産資材課

JAグリーン係長 栗原

正樹(組織教育課)

葬祭課

石井沙耶加(新採用)

◇金融共済部

信用課

課長兼資産相談センター

長 北村貴之(共済課長) 貯金係長 安谷恵(信用課 業務主任) 金融年金係長

税務相談日 5月9日(金) 午前9時30分~ 法務相談日 5月20日(火) 午後1時30分~ 場所 本町支所 予約制です。事前に電話でご予約をお願いします。受け付け順に相談時間が決まります。ご予約は株協同コンサルトはだの 81-2329

◇大根支所 課長 栗原哲平(組織教育課長) 高橋祐子(嘱託員採用) 課長 根本知空(共済課) 中村孝仁(大根支所) 砂金裕太(新採用) 湯山萌花(新採用) 次長 大森和子(信用課) 信用係長 柳川由佳(本町支所) 荒井祐梨(本町支所) 荒田諒斗(新採用) 次長 渡部瞳(南支所) 渉外係長 業務主任 小林智子(南支所) 山口雄也(西支所) 川口元(営農販売課付はだの都市農業支援センター) 高橋亮之助(新採用) 次長 原裕(西支所) 次長 大坪美佳(東支所) 杉崎幸子(東支所) 阿部遼(新採用) 次長 山田直矢(西支所) 三橋ちはる(上支所) 上村淳一(総務課) 小池裕(経済課)

次長 堤憲明(北支所) 次長 山本修司(本町支所) 業務主任 山田順子(西支所) 小結里(南支所) 横山俊平(新採用) 布施悠真(新採用) 片柳麻美(企画部付株協同コンサルトはだの出向) ◎特別嘱託職員(定年再雇用) ◎監査課 諸星直美 ◎企画部付株協同コンサルトはだの出向 向原量一 ◎生産資材課 江原泉 ◎3月26日付退職 末康太(本町支所) ◎3月31日付退職 久保谷英明(総合リスク管理課長) 江原泉(生産資材課) 向原量一(企画部付株協同コンサルトはだの出向) 原弘美(大根支所) 諸星直美(監査課) 高橋祐子(総務課付) 石原恵理子(本町支所) 山口将史(企画課) 山田直矢(西支所) 三橋ちはる(上支所) 上村淳一(総務課) 小池裕(経済課)

茶の苗木植え付け

北支所運営委員会は3月29日、管内の被災農家の支援活動として、菩提の高梨茶園で茶の苗木を植え付けた。昨年起きた土砂崩れの復旧工事と並行して進める、苗木の植え替えに協力しようと、委員や有志が支援の手を差し伸べた。

菩提の被災農家を支援

同園は、昨年8月の台風、本来予定していた茶風10号に伴う大雨で、約の植え替え作業が進まな10号が被害を受けた。今状況に直面していた。年3月中旬からは、重機それを知った委員会が、を入れた本格的な復旧工地域の農業を守るために事が始まった。同園の高梨孝さんは、工事の対応え付けに協力した。

委員や有志合わせて14

北支所運営委

高梨さんは「本来は長い準備期間を設けて家族で少しずつ植え替え作業をしているが、準備が遅れていたの困っていた。皆さんに協力してもらえて本当にありがたい」と感謝した。

渋谷幸夫委員長は「大変な状況でも懸命に農業を継続している高梨茶園の手助けになればと、委員会です話合って支援した。これからも地域の農業を守るために力を尽くしたい」と思いを込めた。



茶の苗木を植える委員ら

ハイキングで春満喫 八重桜の里を散策

西支所 運営委

西支所運営委員会は20日、恒例のハイキングを行った。「春を感じる八重桜と頭高山ハイキング」と題し、小田急線渋谷駅から千村の頭高山までを散策。委員と組合員ら14人が往復約3時間か

けて歩き、春の風景を満喫した。

ハイキングは、組合員の健康増進と、相互の親睦を深めながら地域の魅力を感じてもらうと実施。これまでに「戸川公園と竜神の泉散策」など



頭高山で記念撮影

を企画してきた。

頭高山は、千村の西南に位置する標高約300mの小山で、周辺は八重桜の里としても知られている。参加者はチューリップで有名な泉蔵寺をはじめ、境内に杉の大木が群生する白山神社などをハイキング。目的地の頭高山では、ピンクに色づいた八重桜を眺めな



イチゴ狩りをサポートする桐生委員長

東支所運営委員会 児童にイチゴ狩り体験

の児童が、委員らのサポートでイチゴ狩りを満喫した。体験は「養毛ベリ園」の今市太郎さんが協力した。児童は「紅ほっぺ」「かなこまち」など8品種のイチゴ狩りを体験。「甘くておいしい」「大きいのが取れた」と笑顔があふれた。委員は、熟した大きいイチゴがたくさんある場所を児童に教えるなど、サポートしながら交流を深めた。

桐生茂信委員長は「子どもたちの楽しそうな笑顔が見られてよかった。地域の農業を知ってもらうために今後も続けていきたい」と話した。

接近! おじゃまです

432

柳川の熊澤歌子さんは、小田原市出身で、結婚後に5年ほど東京都で生活。その後1986年に、秦野市の夫の実家に移り住んだ。

茶やミカンを生産する農家だったため、農繁期には茶の摘採やミカンの収穫などを手伝っていた。97年からは市内の児童館で働き、地域の子どもの成長

地域の子どもたち見守る

を長年見守っている。現在は、夫を手伝って茶畑約43畧を管理する他、ジャガイモやキヤベツなど自家消費用の野菜を栽培。荒廃地対策として飼いはじめた羊は、40年以上飼育を

継続。頭や足の黒いサフォーク種を4頭飼育し、今年生まれた子羊3頭の世話もする。刈った羊毛は、自身も所属する「つむぎの会」に提供し、原毛紡ぎの作品に活用している。

児童館では、子どもたちに工作を楽しんでもらおうと、アイデアを出す。これまでに、発泡スチロールのパスルや、羊毛を編み込んだタペストリーなどを、さまざまな工作を教



柳川の熊澤歌子さん(69)

「多くの人と面識ができて、地域で声をかけられることがうれしい。子どもたちにエネルギーをもらいながら、これからも見守っていきたい」と笑顔を見せた。

やえのちゃん ぴーなマンの「ゆうきの里づくり」ってなに? ①



やえのちゃん



ぴーなマン



やえのちゃん

これから6回にわたって「ゆうきの里づくり」について紹介していく。その「ゆうきの里づくり」って一体どんなものなの? J Aはだのが提唱する、有機物の「ゆうき」と勇気の「ゆうき」を掛けて「環境に優しい農業に取り組むなら、元気な産地づくりをしていこう」という運動のことよ。

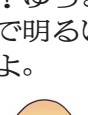
環境に優しく元気な産地に



やえのちゃん



ぴーなマン



やえのちゃん

知らなかったよ。いつ頃から始まった運動なの? 実は20年前から続けているわ。2005年に開いた農業まつりのスローガンが「目指せ! ゆうきの里、地産地消で明るい未来」だったのよ。そうだったんだ。これからも長く取り組みを続けていきたいね。次回ももっと学びたいな。

国際協同組合年に今こそ結集！

求められるJAへ

～春の座談会にご出席ください～

5月7日(水)から28日(水)まで
市内73会場で開催

組合員の皆さまの意見や要望をJAの運営に反映し、組合員参加による協同組合運動を進めるため、春の座談会を5月7日(水)から28日(水)まで、市内73会場で開きます。

今回は、2024年度の事業報告・決算報告、2025年度の事業計画などについて説明します。また、日頃JAについて疑問に思っていることや、ご意見・ご要望をぜひお聞かせください。多くの組合員の皆さまのご出席をお願いします。



昨年の春の座談会(御門・新御門・東南)

2025年度春の
座談会の開催に当たって

代表理事組合長 宮永 均



2024年度の農業を取り巻く環境は、生産資材価格の高騰・高止まりが依然続く中、猛暑や豪雨、暖冬や雨不足などの著しい気候変動はさまざまな農畜産物に影響を及ぼしており、生産農家にとって非常に厳しい1年となりました。一方で、四半世紀ぶりに「食料・農業・農村基本法」が改正され、食料安全保障の確保が法律の目的に加えられた他、適正な価格形成の実現につながる記載や多様な農業者が位置付けられるなど、農業にとっては歴史的な転換点を迎えました。

こうした状況の中、JAはだのは、農業者の所得増大、農業生産の拡大、地域の活性化に資するべく「不断の自己改革」に取り組むとともに、食と農を基軸に第六次中期経営計

画(2022年度～2024年度)最終年度の実践に取り組みました。

各事業収支は、おおむね順調に推移していましたが、日銀による30年ぶりの水準となる政策金利の引き上げにより、金融市場は金利のある世界に転換しました。今後も追加利上げが見込まれる中で、次年度以降の収益の増強確保と安定的な黒字に大きく寄与するものとして、評価損が拡大した有価証券を売却し、金融資産の改善を進めたため、当期決算は損失金を計上しました。

春の座談会では2024年度事業概況を報告するとともに、多くのご意見やご質問をいただき、今後の事業運営に反映させていきたいと考えておりますので、一人でも多くの組合員のご出席をお願いいたします。



発行
秦野市
農業協同組合
(神奈川県)
〒257-0015
秦野市平沢477
電話 0463(81)7711(代)
発行責任者 小島 敏雄
印刷所 (株)JA情報サービス



国際協同組合年

協同組合はよりよい世界を築きます

2024年度協同活動トピックス

【9月】台風被害に市とJAが支援

台風10号に伴う記録的な豪雨で、農地などの崩落の被害を受けた農家に対し、秦野市が補助金を交付し、JAはだのが助成金を交付しました。農地の復旧にかかる費用のうち、市が3分の1を補助し、組合員にはさらにJAが3分の1を助成しました。



被害状況を確認する職員ら

【12月】青年部・女性部が園児と交流

青年部が毎年取り組む「花いっぱい運動」で、女性部と一緒に幼稚園を訪れました。シクラメンなどの花を植えたプランターを手渡し「ピーなマン体操」で園児と交流。両部が連携して、JAや地域農業をPRしました。



西幼稚園を訪れた青年部と女性部

【11月】協同組合フェスタの規模拡大

JAはだの、秦野市カルチャーパークの「市民の日」イベント内で、協同組合フェスタを開きました。じばさんずや女性部、生活協同組合などのブースに、例年農業まつりに出ていた模擬店も加わり、規模を拡大。多くの来場者でにぎわいました。



JAのPRブースで風船を配布

【2月】じばさんず来店者1,100万人達成

じばさんずがオープンからの来店者数1,100万人を達成し、記念セレモニーを開きました。レジを同時に通過した4組を祝い、記念品を贈りました。生産者と消費者をつなぐ地産地消の拠点として、幅広い世代からの人気を集めています。



1,100万人目となった来店者ら

第62回通常総代会を開催

日時 5月29日(木)午後1時30分～ 場所 本所3階 虹の間

第62回通常総代会を5月29日(木)午後1時30分から、本所3階虹の間で開きます。会場の収容人数に限りがあり、当日は出席者全員の席を用意することが難しいため、議決権行使書の提出をご検討ください。

通常総代会提出議案

- 第1号議案 2024年度事業報告および剰余金処分案の承認について
- 第2号議案 JAはだの「第七次中期経営計画(2025年度～2027年度)」の設定について
- 第3号議案 2025年度事業計画の設定について
- 第4号議案 役員報酬について
- 第5号議案 2025年度指導事業の費用に充てるための経費(賦課金)について
- 第6号議案 定款の一部変更について
その他臨時案件

JAはだの自己改革工程表(数値編)

..... 2024年度までの実績

農業者の所得増大・農業生産の拡大

重点目標	はだのじばさんずの取扱高維持(受託取扱高) 対象者 直売所出荷者 想定 売上増加効果 2024年度 7億円	実績 (目標対比)	2022年度 6.7億円 (96.8%)	2023年度 6.9億円 (98.8%)	2024年度 6.9億円 (99.3%)
重点目標	生産者買取の拡大(生産者買取販売高) 対象者 中核的担い手や多様な担い手など 想定 売上増加効果 2024年度 4,600万円	実績 (目標対比)	2022年度 3,519万円 (97.7%)	2023年度 4,654万円 (113.5%)	2024年度 4,886万円 (106.2%)
重点目標	仕入れ強化による生産資材の価格低減(価格低減品目数・累計) 対象者 必要とする全ての者 想定 コスト低減効果 2024年度 10品目 1品目当たり 520~1,270円	実績 (目標対比)	2022年度 5品目 (100%)	2023年度 7品目 (100%)	2024年度 10品目 (100%)

地域の活性化

重点目標	ふるさとの味伝承活動の展開(回数・人数) 2024年度 5回・50人	実績	2022年度 3回・21人	2023年度 6回・62人	2024年度 7回・74人
重点目標	フードライブ活動の実施(回数・拠点数) 2024年度 3回・8カ所	実績	2022年度 3回・8カ所	2023年度 2回・8カ所	2024年度 2回・8カ所

経営基盤の確立・強化

重点目標	金融店舗の業務集約 2024年度 機能別店舗類型に基づいた金融・共済事業の機能再編	実績	2022年度 2店舗を コミュニティ店舗化	2023年度 上支所の金融共済業務 を西支所へ統合	2024年度 2店舗を コミュニティ店舗化
重点目標	管理費用の抑制 2024年度 業務効率化による管理費(人件費)の抑制 ※2021年度比 3カ年2%削減目標	実績	2022年度 △1.9%	2023年度 △1.3%	2024年度 △6.0%

対話・意思反映

項目	2024年度計画	2024年度実績
組合員訪問日(回数・訪問世帯数)	12回・11,000世帯/回	12回・11,658世帯/回
春・秋の座談会(回数・出席人数)	2回・1,000人/回	2回・春898人 秋869人
支所運営委員会(活動回数)	45回	39回

..... 2025年度からの目標

農業者の所得増大・農業生産の拡大

重点目標	はだのじばさんずの取扱高維持(受託取扱高) 対象者 直売所出荷者 想定 売上増加効果 2027年度 7億円	成果指標・ 目標値	2025年度目標 7億円	2026年度目標 7億円	2027年度目標 7億円
重点目標	生産者買取の拡大(生産者買取販売高) 対象者 中核的担い手や多様な担い手など 想定 売上増加効果 2027年度 5,600万円	成果指標・ 目標値	2025年度目標 5,000万円	2026年度目標 5,300万円	2027年度目標 5,600万円
重点目標	仕入れ強化による生産資材の価格低減(価格低減品目数・2022年度からの累計) 対象者 必要とする全ての者 想定 コスト低減効果 2027年度 20品目 1品目当たり 130~1,550円	成果指標・ 目標値	2025年度目標 15品目	2026年度目標 17品目	2027年度目標 20品目

地域の活性化

重点目標	ふるさとの味伝承活動の展開(回数) 2027年度 5回	成果指標・ 目標値	2025年度目標 5回	2026年度目標 5回	2027年度目標 5回
重点目標	農業体験イベントの開催(回数) 2027年度 30回	成果指標・ 目標値	2025年度目標 30回	2026年度目標 30回	2027年度目標 30回

経営基盤の確立・強化

重点目標	業務の効率化 2027年度 DX(デジタルトランスフォーメーション)推進などによる業務の効率化	成果指標・ 目標値	2025年度目標 1業務	2026年度目標 1業務	2027年度目標 1業務
重点目標	経済事業の収支改善 2027年度 取扱高の増加による収支改善(前年対比)	成果指標・ 目標値	2025年度目標 5%改善	2026年度目標 5%改善	2027年度目標 5%改善

対話・意思反映

項目	2025年度計画
組合員訪問日(回数・訪問世帯数)	12回・11,000世帯/回
春・秋の座談会(回数・出席人数)	2回・1,000人/回
支所運営委員会(活動回数)	47回

組合員・地域とともに歩む JAはだの

2024年度
活動の実績

JAはだののすがた

●2025年2月28日現在 ●()内は前年同期実績
●数字は単位未満切り捨て

8 便利で安心 JAバンク

貯金残高 **2,373億7千万円**(2,369億円)
貸出金残高 **426億2千万円** (416億4千万円)

9 万ーに備えての共済

長期共済新契約高
250億1千万円 (235億4千万円)
長期共済保有高
3,823億6千万円(3,925億7千万円)
1年間に支払った事故共済金額
[事故] **1,647件/12億6千万円**
(1,598件/14億8千万円)
生命 **948件/9億6千万円**(1,008件/11億5千万円)
建物 **176件/1億5千万円**(108件/1億7千万円)
自動車 **522件/1億4千万円**(479件/1億5千万円)
その他 **1件(3件)**

10 協同の成果

協同の成果 **4億8千万円**(3億7千万円)
※税引前

11 金融資産の見直し による決算の結果

有価証券売却増益 △**15億8千万円**
当期剰余金 △**11億7千万円**(2億8千万円)

12 (株)協同コンサルトはだの

●入居者に喜ばれる共同住宅のあっせん
入居率 **99.0%**(97.9%)

4 安全・安心な 農産物の供給

- 「はだのじばさんず」を中心とした
新鮮で安全・安心な農産物の供給
- 全体の取扱高 **18億1千万円**(18億円)

はだのじばさんずの利用状況
利用者総数 **53万人**(51万5千人)
うち Sun's Gelato **3万人**(2万8千人)
取扱高 **11億2,632万円**(10億5,643万円)
うち Sun's Gelato **2,204万円**(1,988万円)

5 健康と福祉の取り組み

- JA健康寿命100歳プロジェクトの展開
人間ドック 受診者人数 **721人**(713人)
長寿記念品の贈呈 申請者人数 **138人**(115人)

6 生産資材や 生活物資の安定供給

- 全体の供給高 **32億6千万円**(21億9千万円)
内訳 生産資材 **10億円**(10億7千万円)
生活物資 **22億2千万円**(11億1千万円)
※生活物資には、施設建設の取り扱いを含む
17億8千万円(6億3千万円)

7 JAセレモニーホール はだのの利用状況

施行件数 **233件**(260件)
取扱高 **3億5千万円**(3億8千万円)

当期末処分剰余金

(単位:千円)	
科目	金額
当期剰余金	△1,178,040
当期首繰越剰余金	884,722
経営基盤強化積立金取崩額	1,609,790
大規模災害緊急対策積立金取崩額	13,527
当期末処分剰余金	1,329,999

1 みんなの仲間

組合員数 **14,097人**(14,179人)
正組合員 **2,606人**(2,666人) 准組合員 **11,491人**(11,513人)

2 資本の状況

資本の合計 **149億1千万円**(162億4千万円)
準備金・
内 積立金他 **133億6千万円**(146億6千万円)
出資金 **15億5千万円**(15億8千万円)
自己資本比率 **13.98%**(15.04%)

3 営農事業の 取り組み

- 持続可能な地域農業の確立
●部会担当者や販売TAC担当者による、面談・
対話を通じた提案や、相談活動の充実
●関係機関と連携した、多様な担い手の確保・
育成に向けた取り組み
●部会組織の運営改善を目的とした一部業種
別部会の統合
●はだの都市農業支援センターの
取り組み
●「はだの農業満喫CLUB」への参加促進
利用者数 延べ1,541人(延べ1,618人)
●「鳥獣被害防止総合対策交付金」を活用した施
策を実施
●観光農業振興に向けた農園ハイクや収穫体験の
実施

2024年度剰余金処分案

(単位:千円)	
科目	金額
1. 当期末処分剰余金	1,329,999
2. 剰余金処分額	742,271
(1) 任意積立金	710,000
経営基盤強化積立金	610,000
大規模災害緊急対策積立金	100,000
(2) 出資配当金	32,271
3. 次期繰越剰余金	587,727

(注)1. 出資配当は年2.0%の割合です。
2. 次期繰越剰余金には、営農指導、教育、生活・文化改善
の事業の費用に充てるための繰越額1,500万円が含ま
れています。



JAはだの「第七次中期経営計画」骨子について(要旨)

1. 策定にあたって

JAはだのは、中長期的な視野に基づいて取り組む事項を整理するため、3年ごとに中期経営計画を策定しています。これは組合員とともに、役職員が実践するための

行動計画であり、全ての関係者が理解・共有し、それぞれの役割を十分に発揮するための実践計画です。

「第七次中期経営計画」(2025年度～2027年度)は、第30回JA全国大会や第77回県農協大会の決議を踏まえ、これまで積み重ねてきた自己改革の歩みを止めること

なく、より一層組合員の声を聴き、食と農を基軸に、組合員の営農や暮らし、地域の活性化に資するJAの役割を十分に発揮していきます。



2. JAはだの使命

地域におけるJAの役割を果たすため、3つの使命「次代につながる秦野農業」「農業者の所得増大」「豊かなくらしづくり」を掲げ、食と農を基軸とした地域協同組合として「モノづくり」「地域づくり」また2つの土台となる「ヒトづくり」に貢献します。

ヒトづくり

JA役職員と組合員に共通した「ヒトづくり」の指針とし

て「学び、実践する」という「行動規範」を掲げます。

モノづくり

次代につながる秦野農業 ……
多面的機能を有する農地と、農家が紡いできた地域営農を次代につなげ、将来にわたって秦野農業の維持・継続に向けて取り組みます。

農業者の所得増大 ……
地産地消の考えに基づき、農業生産の拡大とともに消費者ニーズに対応した安全・安心な地場産農産物の

地域づくり

豊かなくらしづくり ……
総合事業を通じて、地域の生活インフラ機能を最大限発揮し、地域になくってはならない存在として組合員の豊かなくらしを支えます。



3. 第七次中期経営計画の骨子

JAはだの3つの使命に対応するとともに、これらを効果的に実行するための土台となる基本目標として、以下の4点を掲げます。

基本目標Ⅰ 持続可能な地域農業の確立

- ①振興作物「落花生」の生産振興
- ②営農指導の充実
- ③多様な担い手の確保・育成
- ④有害鳥獣対策の強化
- ⑤コスト低減と環境負荷に配慮した生産支援
- ⑥環境に配慮した持続可能な農業の展開

基本目標Ⅱ 地産地消を中心とした販売力強化

- ①「はだのじばさんず」の販売拡大
- ②買取販売の拡大
- ③学校給食への農産物の安定供給

基本目標Ⅲ 総合事業の展開による相談・提案機能の確立

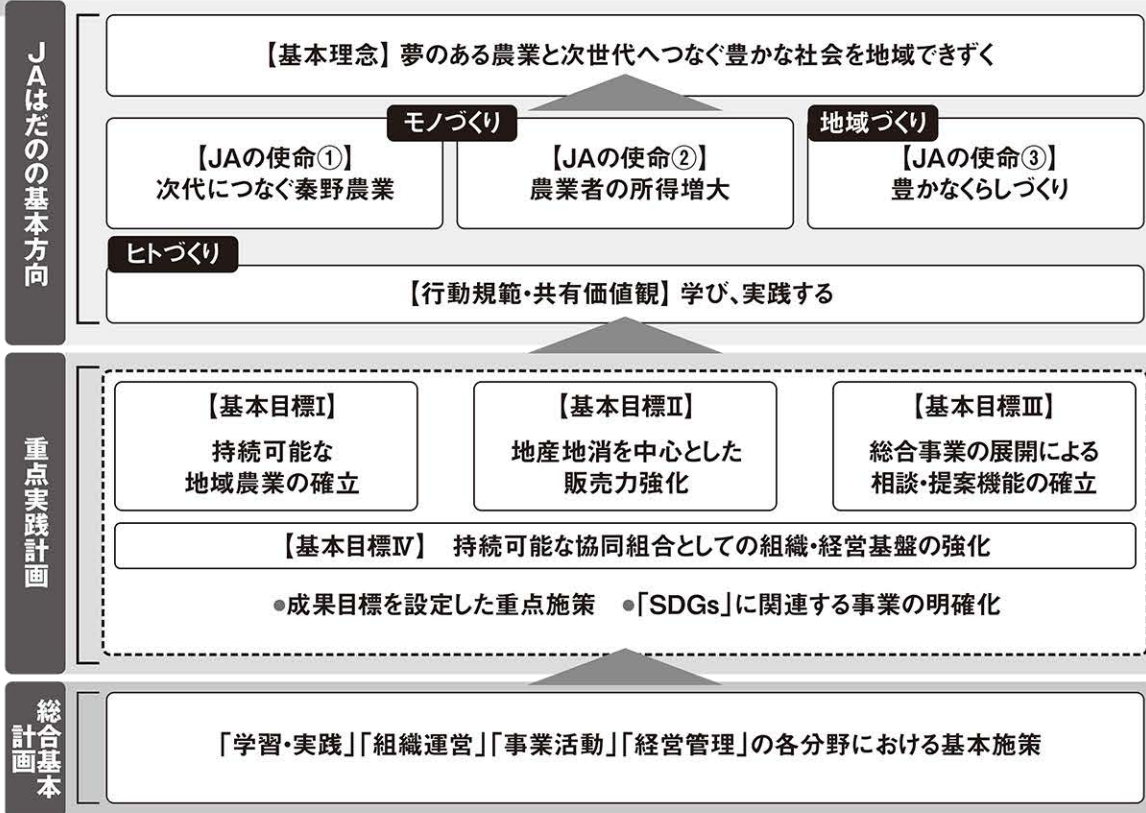
- ①資産相談センター機能の発揮
- ②金融共済事業の相談・提案機能の充実

基本目標Ⅳ 持続可能な協同組合としての組織・経営基盤の強化

- ①組合員加入促進による組織基盤の強化
- ②持続可能な経営基盤の確立

計画の実践項目としては、「学習・実践」「組織運営」「事業活動」「経営管理」の各分野の基本施策を「総合基本計画」とし、その中から基本目標の達成に向けて、重点的に取り組む施策を「重点実践計画」として抽出し、明確化します。「重点実践計画」には成果目標を設定し、さらなる実効性の向上と「見える化」を図り、進捗管理していきます。

JAはだの「第七次中期経営計画」の全体像



2025年度の事業計画について(要旨)

基本方針

JAはだのは、農業者の所得増大、農業生産の拡大、地域の活性化に資するため、食と農を基軸に第七次中期経営計画(2025年度～2027年度)初年度の実践に取り組めます。基本理念である「夢のある農業と次世代へつなぐ豊かな社会を地域でさぐく」の実現を目指し、地域農業振興と持続可能な地域社会づくりに一層取り組んでいきます。

重点実践計画

1 持続可能な地域農業の確立

(1) 振興作物「落花生」の生産振興

- ①振興協議会(仮称) …… 設置
- ②落花生出荷者数 …… 90人

(2) 営農指導の充実

- ①農業者面談件数 …… 1,800件
- ②農業経営支援件数 …… 3件

- ③労働力調整機能の検討回数… 3回

(3) 多様な担い手の確保・育成

- ①新規就農者数 …… 5人
- ②加工相談会回数 …… 11回

(4) 有害鳥獣対策の強化

- ①狩猟免許取得者数 …… 140人
- ②さわやか農園面積 …… 59,500㎡

(5) コスト低減と環境負荷に配慮した生産支援

- ①生産資材の価格低減品目数 …… 15品目
- ②環境配慮型資材の取扱割合 …… 10%増

(6) 環境に配慮した持続可能な農業の展開

- ①環境調和型農業の推進を目的とした「ゆうきの里づくり」の発信回数 …… 10回
- ②「みどりの食料システム戦略」を踏まえた、地域に合った栽培方法の提案数 …… 3提案

2 地産地消を中心とした販売力強化

(1) 「はだのじばさんず」の販売拡大

- ①取扱高(税込み) …… 10億8,800万円
- ②利用者数 …… 51万人
- ③新規出荷者数 …… 15人

(2) 買取販売の拡大

- ①生産者買取販売高 …… 5,000万円
- ②作付け提案数 …… 3提案
- ③産地間提携先・市場などからの買取販売高 …… 3億4,000万円

(3) 学校給食への農産物の安定供給

- ①中学校給食地場産率 …… 50%
- ②学校給食を通じた食農教育活動回数 …… 2回

3 総合事業の展開による相談・提案機能の確立

(1) 資産相談センター機能の発揮

- 資産相談申込件数 …… 50件

(2) 金融共済事業の相談・提案機能の充実

- ①遺言信託申込件数 …… 25件

- ②投資信託残高 …… 17億円
- ③農業資金の新規取扱件数… 30件
“ 実行額… 2億8,000万円
- ④住宅・マイカー・教育資金の新規取扱件数 …… 120件
- ⑤事業資金の新規取扱件数… 20件
- ⑥あんしんチェック実施人数… 6,000人

4 持続可能な協同組合としての組織・経営基盤の強化

(1) 組合員加入促進による組織基盤の強化

- ①次世代組合員確保に向けた運動回数 …… 1回
- ②新規加入者数 …… 300人
- ③正組合員の資格要件の見直し検討

(2) 持続可能な経営基盤の確立

- ①DX(デジタルトランスフォーメーション)推進などによる業務の効率化… 1業務
- ②経済事業の収支改善前年対比 …… 5%改善
- ③職員待遇・就業環境の見直し施策数 …… 1施策
- ④地域共生社会実現に向けた施策数 …… 1施策